



本木勝利議員

22年度の予算編成をどうすすめるのか

町長 地方交付税などの確保が重要

■ 来年度の予算編成は

本木 現状では、来年度の予算について予測しがたい要素が多くあります。民主党中心の政権下で、本町の予算編成をどうすすめるのか伺います。

町長 自主財源の少ない本町にとって、依存財源である地方交付税などをどれだけ確保できるかが非常に重要だと思っています。

現在の経済状況下における雇用の確保と景気対策、子育て支援の充実、美しいまちづくりなどを重点事項として、税収や交付税の動向をふまえながらすすめていきます。

■ 荒砥橋の対応は

本木 地方からの陳情や要望の仕方は、民主党の県連が窓口になり、党幹事長室で一元化するような考え方が示されています。これでは問題があると思います。町長の考えを伺います。

また荒砥橋のように地方の生命線となるものについ

ては、予算をつけるようき然とした対応が必要だと思いますがどうですか。

町長 民主党の県連関係から「今後こうなります」という説明はありません。

行政として今まで以上に県関係の国会議員に積極的にお願いをしていきたいと思っています。

荒砥橋のような重要事業をまとめ、国に要望・陳情をすることは、町として当然のことと思います。方法

として幅広く政党や関係省庁へ届けていきます。

■ 職員の資質向上

本木 町発展には、職員の資質向上と住民の「この地域・町をどうしていくか」という意識の高揚が非常に大事になると思っています。

町長 これからの自治体経営には、自らの発想と地域力を組み合わせ、町民の幸

せを構築していくことが究極になると思っています。職員の資質の向上は、避けて通れないものと思います。

■ 職員の地域担当制

本木 職員が地域に出向き、課題などを聞いて解決する方法を一緒に考える地域担当制は、職員にとって一番いい勉強になると思います。この地域担当制を、検討して欲しいのですがどうですか。

町長 県内でも地域担当制を導入しているところがあります。大変良いことも悪いこともあるようで、暗中模索のなかで行っているようです。

集落機能の低下が懸念される地域については、地域担当制というよりも、地区公民館のあり方も考慮しながら、集落支援ということを総合的に検討していきたいと思っています。



庁内の予算ヒアリング